

## 6 意見

### (1) 一般会計

本市における令和元年度一般会計決算は、歳入決算額 1,062 億 1,224 万 4,198 円、歳出決算額 1,057 億 7,821 万 9,195 円で、4 年連続で歳入歳出ともに 1,000 億円を超える決算となった。

実質収支は 3 億 7,595 万 2,003 円で 44 年連続の黒字となっているものの、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、4 年連続の赤字となっている。

歳入面では、市税が 2 年連続で増加し、前年度より 14 億 1,381 万 3,886 円(3.3%)増えている。これは主に、海外需要の減少にともなう一部業種の業績不振などにより法人市民税が減少する一方で、事業所税が平年度化により 12 億 4,858 万 5,200 円(283.5%)増加したことや給与所得の増などにより個人市民税が増加したことによる。

また、国庫支出金が前年度に比べ 24 億 7,671 万 6,243 円(12.6%)増加しており、これは主として、私立保育所や認定こども園等にかかる施設型給付費負担金や西日本こども研修センターあかしの整備費補助金などの増加によるものである。

財産収入では、67 億 2,593 万 2,307 円(94.6%)の減少となっており、これは、前年度、J T 跡地の売却により大幅に増加していた土地売払収入が減少したためである。(P16 参照)

歳出面では、性質別歳出を前年度と比較してみると、義務的経費は 630 億 8,743 万 4,000 円で、31 億 7,429 万 4,000 円(5.3%)増加している。これは主に私立保育所等の運営にかかる幼保給付費で扶助費が増加したことによる。

投資的経費は 80 億 1,049 万円で、49 億 4,959 万 9,000 円(38.2%)減少している。これは主に J T 跡地の購入や私立保育所等及び児童相談所の施設整備にかかる普通建設事業費が減少したことによる。

繰出金は 106 億 3,780 万 8,000 円で 4 億 7,443 万 9,000 円(4.7%)増加している。これは主に介護保険事業への繰出金や兵庫県後期高齢者医療広域連合への負担金等が増加したことによる。

その他経費は 240 億 4,248 万 7,000 円で、21 億 3,214 万 2,000 円(8.1%)減少している。これは主に、J T 跡地売払収入が減少したことに伴い財政基

金積立金が減少したことによる。(P41 参照)

財政基金、減債基金及び特別会計等財政健全化基金の令和2年5月末時点での現在高は110億1,032万5,533円となっており、4億8,332万6,215円(4.2%)減少している。(P9 参照)

将来の財政負担となる市債現在高は1,182億590万1,807円であり、減収補てん債及び小学校施設整備事業債、地域総合支援センター整備事業債などの投資的経費の財源として市債発行額が増加したものの、臨時財政対策債や児童相談所整備事業債の市債発行額が減少し償還額を下回ったため、7億2,576万1,925円(0.6%)減少している。

財政指標について前年度と比較してみると、財政力指数、経常収支比率、公債費負担比率及び基金残高比率は、ともに悪化している。また、経常収支比率は4年連続で悪化を続けている。(P6 参照)

## (2) 特別会計

### ア 国民健康保険事業(P48 参照)

医療費については、被保険者数の減少に伴って昨年度に引き続き減少したものの、1人当たりの医療費は、前期高齢者加入割合の増加により年々増加している。

当年度も人間ドックの助成や特定健診未受診者への受診勧奨など被保険者の予防・健康づくり事業を進めるとともに、全被保険者にジェネリック医薬品希望シールを配付するなど医療費の適正化に取り組んでいる。医療費の増加は、保険料の上昇にも繋がることから、引き続き、被保険者の健康保持増進及び医療費の適正化を図りたい。

また、国民健康保険制度改革に伴い、平成30年4月から兵庫県が財政運営の責任主体として国民健康保険運営の中心的な役割を担うこととなった。県は市へ保険給付に必要な額を保険給付費等交付金として交付し、市は県へ被保険者から徴収した保険料を国民健康保険事業費納付金として納付している。

当年度の保険料の収入率は88.0%で、預金照会を中心とした財産調査や債権差押などの滞納処分を実施した結果、前年度に比べ1.3ポイント上昇

している。被保険者間の負担の公平性の観点からも引き続き収納対策に取り組まれない。

今後とも、県が定めた兵庫県国民健康保険運営方針を踏まえ、県とともに国民健康保険制度の安定化に努められたい。

#### イ 地方卸売市場事業(P57 参照)

明石市公設地方卸売市場については、市場の活性化に向けた取組の一つとして、平成 27 年度から指定管理者制度を導入され、株式会社明石卸売市場管理センター(以下「センター」という。)が管理運営を行っている。

市は、センターとの連携を図りながら、海外販路の拡大や中学校給食への食材提供などに取り組まれているところであるが、当年度も取扱量で 93 トン、取扱金額で 7 億 8,537 万 4,221 円減少している。

引き続きセンターと協同して、取扱高の回復に向けた効果的な事業運営に取り組まれない。

#### ウ 介護保険事業(P59 参照)

介護保険制度の開始以降、本市における年間平均の第 1 号被保険者数、要介護認定者数はともに年々増加しており、事業にかかる経費も増加を続けている。

そのため、介護保険制度の運営にあたっては、介護サービスの給付費用を適正化することが重要となっており、介護予防サービスの推進、ケアプランの点検、適正な要支援・要介護認定の推進等に取り組んでいる。

介護給付費の増加は保険料負担の増大につながるおそれがあるため、今後もさらなる適正化に取り組まれない。

なお、令和 2 年度は、本市の第 7 期介護保険事業計画の最終年度であることから、事業の実施状況を十分に検証した上で第 8 期計画を策定し、将来にわたって安定的に介護保険事業を運営できるよう努められたい。

### (3) 収入未済及び不納欠損

一般会計の未収入特定財源を除く収入未済額は 17 億 3,366 万 4,772 円となっており、前年度と比べて 2 億 4,968 万 4,854 円(12.6%)減少している。そのうち、市税の収入未済額は 12 億 9,716 万 5,615 円で、現年度課税分の滞納者に対して催告と差押えを重点的に実施するなどの取組をされた結果、前年度に比べ 1 億 8,455 万 5,679 円(12.5%)減少している。収入率は、

96.8%で前年度に比べ、0.5ポイント増え、9年連続で上昇している。

貴重な自主財源の確保と負担の公平を期するため、市税はもとより、税以外の保険料等各種公金についても新たな収入未済の発生防止に向けての取組を引き続き行われたい。

また、不納欠損処分については、負担の公平性からも、必要な債権保全策を講じながら、今後とも法令等の根拠に基づき適切に行われたい。

#### (4) むすび

本市では、これまで、「こどもを核としたまちづくり」「誰にもやさしいまちづくり」を重点的に推進してきた。

令和元年度においては、市制施行100周年を祝賀する事業を推進するとともに、次の100年のまちづくりに向けて、高齢者施策の拡充をはじめ、安全・安心で快適な暮らしを支える都市空間づくり、まちの賑わいの創出と魅力の発信、こども総合支援の充実、共生社会に向けた取組など、様々な施策を進めてきたところである。

このような施策展開のなか、子育て世代を中心に人口が増え、まちが活性化し、それに伴い、税収が増加し、さらなる施策の充実につながるという好循環が広がっている。

しかしながら、本市の財政状況については、一般財源である財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の3基金は、約110億円の残高を確保しているものの、扶助費などの義務的経費が年々増加し、4年連続で、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が悪化しており、単年度収支も赤字である。

一方、我が国の経済状況は、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、景気は内外需ともに大きく押し下げられている。また、多くの業種では、長期の休業や売上の大幅減に伴い、雇用へのしわ寄せも顕在化している。

経済と日常生活の両面の回復に向けて取り組んできているが、先行きは未だ見えない状況である。

そのようななか、本市では、市民の生活と健康を守るために、新型コロナ

対策として、国や県の施策に加えて、市の自主財源をもとに、独自の支援策を積極的に進めているところであるが、今後さらなる対応も必要となると考える。

さらに、明石クリーンセンターの建替えや市役所新庁舎の整備をはじめ、その他の施設も老朽化が進んでおり、一斉に建替えや大規模改修の時期を迎え、多額の費用を伴うこととなる。また、高齢化の進行や近年頻発している自然災害への備えも欠かせない。

こうしたことを踏まえると、本市としては、市民の生命と安全を第一にしなが、財政の健全化も一層進めていく局面を迎えていると捉えられる。大変厳しい状況ではあるが、引き続き、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し持続可能な財政構造の構築に努めるとともに、「すべての人にやさしいまちをみんなで」をキーワードに知恵と力を結集し取り組むことにより、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち「SDGs 未来安心都市・明石」をめざしていくことを望むものである。

